

令和4年度
卒後研修
受講者
募集案内

公益社団法人 東京都歯科医師会
(<https://www.tokyo-da.org>)



目 次

卒後研修受講者募集のご案内	1
卒後研修 申込書	1
卒後研修実施 日程	2
卒後研修実施 内容（各大学4講座ずつ）	3
1. 東京歯科大学	3
2. 日本歯科大学生命歯学部	5
3. 日本大学歯学部	7
4. 東京医科歯科大学歯学部	9
5. 昭和大学歯学部	11

○ 卒後研修開催日カレンダー ○

※太枠の○-○は申込番号となり、研修内容の詳細は2ページ以降をご覧ください。

申込番号 東歯大：1-○ 日歯大：2-○ 日大：3-○ 医歯大：4-○ 昭和大：5-○

6月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		
2-1 3-1						

7月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
				1-1 1-2		
17	18	19	20	21	22	23
				4-1 5-1		
24	25	26	27	28	29	30
5-2 5-3						
31						
1-3 2-2						

8月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
				3-2 3-3		
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
				3-4 5-4		
21	22	23	24	25	26	27
1-4 4-2						
28	29	30	31			
2-3 4-3						

9月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
				2-4 4-4		
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

卒後研修受講者募集のご案内

1. 研修時間 ①9時30分～12時30分 ②14時～17時
2. 開催場所 本会1階・大会議室 千代田区九段北4-1-20-1階 歯科医師会館
3. 申込期間 令和4年4月4日(月)～5月27日(金)まで ※定員超過の講座は抽選。なお、定員未満の講座は6月17日(金)まで申込みを受付けますので、お問合わせください。
4. 申込方法 本会ホームページ [東京都歯科医師会](#) [検索](#) のイベント情報の [申込フォーム](#) よりお申込みください。または、下記申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください。
5. 費用 受講料(1講座につき) 本会正会員・準会員 1,000円 / 非会員 50,000円
6. 支払方法 本会から、受講料の払込票を当選(開催)通知と併せて送付しますので、コンビニより6月17日(金)までに必ず納入ください。(振込み手数料は本会負担のため無料)
7. 受講取消 当選後は、取消しができません。欠席の場合でも受講料を負担いただきますのでご了承ください。欠席する場合、以下のお問合せ先にご連絡ください。
8. 日歯生涯研修 受講研修(6単位)に該当します。
9. お問合せ先 公益社団法人 東京都歯科医師会・学術担当
〒102-8241 東京都千代田区九段北4-1-20 歯科医師会館3階
TEL. 03-3262-1149 (平日10時～16時) ・FAX. 03-3262-4199



こちらからも
研修会のお申
込みができます

公益社団法人 東京都歯科医師会・学術担当 行
FAX. 03-3262-4199

令和4年度 卒後研修申込書

ふりがな			〒 —
氏名	<input type="checkbox"/> 正会員 <input type="checkbox"/> 準会員 <input type="checkbox"/> 非会員	医療 機 関 住 所	
地区 <small>(正会員のみ 記入)</small>	歯科医師会		
医療機関 電話	— —	医療 機 関 名	

1. 受講希望の申込番号・開催日をご記入ください。
2. 申込講座数に制限はありません。
3. 記載の氏名・所属地区名のみ担当講師に提供いたします。

	申込番号	開催日		申込番号	開催日
1 講座	—	月 日	11 講座	—	月 日
2 講座	—	月 日	12 講座	—	月 日
3 講座	—	月 日	13 講座	—	月 日
4 講座	—	月 日	14 講座	—	月 日
5 講座	—	月 日	15 講座	—	月 日
6 講座	—	月 日	16 講座	—	月 日
7 講座	—	月 日	17 講座	—	月 日
8 講座	—	月 日	18 講座	—	月 日
9 講座	—	月 日	19 講座	—	月 日
10 講座	—	月 日	20 講座	—	月 日

卒後研修実施日程

(開催日順・敬称略)

申込 番号	開催日時		研修テーマ	大 学	講 師
	日	時			
2-1	6月26日(日)	9:30	メタルフリー接着修復の最新情報と勘所 ーコンポジットレジン修復からCAD/CAM冠修復までー	日本歯科大学	奈良 陽一郎 教授
3-1	6月26日(日)	14:00	かかりつけ歯科医が実施する診療室を核とした在宅歯科診療	日本大学歯学部	植田 耕一郎 教授
1-1	7月14日(木)	9:30	明日から有効活用! 歯科用コーンビームCT	東京歯科大学	後藤 多津子 教授
1-2	7月14日(木)	14:00	最新の歯内療法	東京歯科大学	古澤 成博 教授
4-1	7月21日(木)	9:30	これからの摂食嚥下リハビリテーション	東京医科歯科大学	戸原 玄 教授
5-1	7月21日(木)	14:00	エンドの基本と難症例対策	昭和大学歯学部	鈴木 規元 教授
5-2	7月24日(日)	9:30	超高齢社会におけるオーラルフレイルの美しい検査と管理	昭和大学歯学部	佐藤 裕二 教授 古屋 純一 准教授
5-3	7月24日(日)	14:00	口腔機能発達不全症の評価と対応	昭和大学歯学部	弘中 祥司 教授
1-3	7月31日(日)	9:30	いまから始める口腔機能検査と口腔機能管理 ー口腔機能低下症を外来診療に導入しようー	東京歯科大学	上田 貴之 教授 竜 正大 准教授
2-2	7月31日(日)	14:00	抜歯に関連する偶発症・合併症の理解と予防	日本歯科大学	里見 貴史 教授 澁井 武夫 教授
3-2	8月4日(木)	9:30	軟質裏装材による下顎高度顎堤吸収症例への対応	日本大学歯学部	飯沼 利光 教授
3-3	8月4日(木)	14:00	エンドの難治症例に対応するための基本的なアプローチ	日本大学歯学部	武市 収 教授
3-4	8月18日(木)	9:30	抜歯の臨床 ～トラブル回避のための知っておきたい10のポイント	日本大学歯学部	外木 守雄 教授
5-4	8月18日(木)	14:00	リグロス®を用いた低侵襲な歯周組織再生療法および歯周病 新分類について	昭和大学歯学部	山本 松男 教授
1-4	8月21日(日)	9:30	徹底理解! デンタルセラミックスの新常識	東京歯科大学	関根 秀志 教授
4-2	8月21日(日)	14:00	パーシャルデンチャー設計チャレンジ	東京医科歯科大学	若林 則幸 教授
2-3	8月28日(日)	9:30	歯内療法のパラダイムシフト	日本歯科大学	五十嵐 勝 教授 北村 和夫 教授
4-3	8月28日(日)	14:00	エビデンスに基づくベーシックエンド+α	東京医科歯科大学	興地 隆史 教授
2-4	9月8日(木)	9:30	歯周組織再生療法を効果的に活用するには?	日本歯科大学	沼部 幸博 教授
4-4	9月8日(木)	14:00	顎関節症の病態診断と病態別治療法	東京医科歯科大学	依田 哲也 教授

※開催場所: 全講座 本会1階・大会議室

※開催時間: ①9時30分～12時30分 ②14時～17時

※受講料(1講座につき): 本会正会員, 準会員1,000円/非会員50,000円

—— 卒後研修実施内容 ——

1. 東京歯科大学

◎歯科放射線学講座 申込番号：1-1

1. 期 日 令和4年7月14日（木）9時30分～12時30分
2. 開催場所 本会1階・大会議室（千代田区九段北4-1-20-1階 歯科医師会館）
3. 研修テーマ 明日から有効活用！ 歯科用コーンビームCT
4. 研修の特徴 歯科用コーンビームCT（CBCT）による3次元画像は、診断と治療方針の決定に重要な役割を果たします。ただし被曝を伴う検査であるため、歯科医師が被曝量を最適化し、有効利用することが大切です。
本研修では、毎日の臨床に役立つCBCTの基本的事項と画像解剖についてお話しします。デンタルやパノラマで診るべき症例、CBCT検査へと進めるべき症例、他院への依頼方法、また医療事故対策についてもお知らせしたいと思います。
次に歯内療法、埋伏歯、インプラント術前など、疾患に応じて異なるCBCTの撮影法、治療方針や患者さんの状況を考慮した撮影法、被曝量、読影診断におけるコツをお示しします。
さらには、受講される先生方が経験された症例、撮影方法や読影診断におけるお悩みを事前にお知らせいただいて、当日にディスカッションするセッションを設けます。
本研修を通じて、明日からの臨床に活かせるCBCTのノウハウを修得していただければ幸いです。
5. 担当者 後藤多津子教授
6. 受講定員 60名 7. 記録 撮影×、録画×、録音× 8. 研修コード 2304

◎歯内療法学講座 申込番号：1-2

1. 期 日 令和4年7月14日（木）14時00分～17時00分
2. 開催場所 本会1階・大会議室（千代田区九段北4-1-20-1階 歯科医師会館）
3. 研修テーマ 最新の歯内療法
4. 研修の特徴 歯内療法領域における最近のトピックスと言えば、歯科用コーンビームCT（CBCT）をはじめとするデジタルイメージングの導入、Ni-Tiファイルの応用、マイクロスコープの活用、そしてMTAセメントの登場です。画像診断は従来デンタルエックス線写真による診断が一般的でしたが、現在ではCBCTによる診断が必須のものとなっています。また、旧来の方法に比較しマイクロスコープを応用して処置を行った方が、確実に成功率が高くなると言われています。従来の手探りの処置では保存不可能であった歯を、マイクロスコープを用いて明視下で確実な処置を行うことによって、患歯を保存することが可能となりました。
また、Ni-Tiファイルについても日々進化し、現在は第4世代に入っておりますが、適切に使用することにより、診療効率が向上することは言うまでもありません。さらにMTAセメントについても適切な症例に使用すれば、従来の方法では保存不可能であった症例も保存可能となりました。今回は、改めて進化する歯内療法の診断と処置について、実際の症例を提示して解説したいと思います。
5. 担当者 古澤 成博教授
6. 受講定員 60名 7. 記録 撮影×、録画×、録音× 8. 研修コード 2503

◎老年歯科補綴学講座 申込番号：1-3

1. 期 日 令和4年7月31日(日) 9時30分～12時30分
2. 開催場所 本会1階・大会議室(千代田区九段北4-1-20-1階 歯科医師会館)
3. 研修テーマ いまから始める口腔機能検査と口腔機能管理
ー口腔機能低下症を外来診療に導入しようー
4. 研修の特徴 口腔機能低下症は、口腔機能を構成する機能のうち、複数の機能が複合的に低下した状態を示すもので、2018年4月の診療報酬改定で口腔機能低下症に係る検査料と管理料が保険導入されました。これにより本疾患への理解が加速しています。しかし新しい概念や検査方法であるため、実際の診療に取り入れられた方はまだ多くないのが現状です。
口腔機能低下症の診断のためには、口腔衛生状態不良、口腔乾燥、咬合力低下、舌口唇運動機能低下、低舌圧、咀嚼機能低下、嚥下機能低下の7項目の検査を行います。そのうち3項目以上が低下に該当する場合、「口腔機能低下症」と診断します。
今回の研修では、口腔機能低下症の診断のための検査7項目すべてについて、基本的な方法から実施時の注意点まで詳細に解説を行います。また、診断された後には口腔機能管理を行うこととなりますが、そのための管理計画の作成がわからないと感じる方も多いようです。明日からの臨床にお役に立てるよう、管理計画の立案の方法やポイントについてもお話しします。
5. 担当者 上田 貴之教授, 竜 正大准教授
6. 受講定員 60名 7. 記録 撮影×, 録画×, 録音× 8. 研修コード 3405

◎クラウンブリッジ補綴学講座 申込番号：1-4

1. 期 日 令和4年8月21日(日) 9時30分～12時30分
2. 開催場所 本会1階・大会議室(千代田区九段北4-1-20-1階 歯科医師会館)
3. 研修テーマ 徹底理解! デンタルセラミックスの新常識
4. 研修の特徴 現在、様々な理由からメタルフリーによる治療を選択する機会が多くなりました。メタルフリークラウン製作には、従来のロストワックス法のほかCAD/CAM法があります。この製作法にも関連する材料の特徴を理解することは、適切な治療を行ううえで重要です。
本研修では、まず最新のメタルフリー材料の特徴について学び、オールセラミック補綴のひとつの治療法としてファイバーポスト併用レジン支台築造と支台歯形成、そしてデジタルデンティストリーを活用した光学印象採得や光学咬合採得までを理解して頂き、このほかに装着や咬合調整、研磨法を学習します。これにより診査診断から装着に至るまでを一貫的に体得することで、明日の日常臨床から活かすことができます。既にメタルフリー治療を導入していても、最新エビデンスに基づいたアップデートができます。
またメタルフリークラウンの脱離や破損に対する対処法についても解説します。
5. 担当者 関根 秀志教授
6. 受講定員 60名 7. 記録 撮影×, 録画×, 録音× 8. 研修コード 2605

2. 日本歯科大学生命歯学部

◎接着歯科学講座 申込番号：2-1

1. 期 日 令和4年6月26日（日）9時30分～12時30分
2. 開催場所 本会1階・大会議室（千代田区九段北4-1-20-1階 歯科医師会館）
3. 研修テーマ **メタルフリー接着修復の最新情報と勘所**
ーコンポジットレジン修復からCAD/CAM冠修復までー
4. 研修の特徴 **メタルフリー接着修復は、患者国民が切望する“審美性・低侵襲性・信頼性”に長けた治療を提供する首座的な方法といえましょう。**
そこで今回のプログラムでは、連日頻繁に対応が求められるコンポジットレジン直接修復と今後の歯科医療を担うであろうことに疑いの余地がないCAD/CAM修復にスポットを当て、それらの最新情報と臨床的な勘所についてご紹介します。具体的には、市販ボンディングシステムの“真の接着性能”はじめ、より確実なコンポジットレジン2級直接修復の留意点、接着性レジンセメントが具備する“接着性能”の実態とその引き出し方、脱落させないメタルフリーCAD/CAM修復の隠し技、保険導入された象牙質レジンコーティング活用のCAD/CAM冠修復やその必勝クリニカルポイントなどについて、判り易く説明します。
限られた時間ではありますが、この研修コース内容が日々の診療のお役に立つよう、5名のスタッフによって対応させていただきます。
5. 担当者 奈良陽一郎教授
6. 受講定員 60名
7. 記録 録 撮影×，録画×，録音×
8. 研修コード 2604

◎口腔外科学講座、附属病院口腔外科 申込番号：2-2

1. 期 日 令和4年7月31日（日）14時00分～17時00分
2. 開催場所 本会1階・大会議室（千代田区九段北4-1-20-1階 歯科医師会館）
3. 研修テーマ **抜歯に関連する偶発症・合併症の理解と予防**
4. 研修の特徴 **抜歯術は口腔外科小手術の基本で、先生方も日常臨床で行っていることと思います。本研修では、抜歯手術中・術後に起こりうる偶発症・合併症に焦点を当てます。**
偶発症・合併症のリスクを完全に排除することは不可能です。本研修を通して、様々なリスクを考えると抜歯を行うことが怖くなると思われる先生もいるかもしれません。しかし、その発生する可能性と対処法を正しく理解することで、偶発症・合併症が起きないように最大限の注意を払うことができます。また、何か起きた時、その偶発症・合併症が想定範囲内のものであれば、適切な対処が可能となり、患者さんとの信頼関係を損なうのを防ぐことができます。
本研修では、出血、神経傷害、抜歯後感染、手術器具や歯根の迷入、顎骨壊死をトピックに挙げます。どのような症例で何をどのように気をつけなければいけないか、どのように対処すれば良いのか、解剖学的、薬理的な内容も含め解説します。
口腔外科手術の経験の浅い先生方はもちろんのこと、基礎的な内容を再確認したい先生方の参加をお待ちしております。
5. 担当者 里見 貴史教授（口腔外科学講座）、澁井 武夫教授（附属病院口腔外科）
6. 受講定員 60名
7. 記録 録 撮影×，録画×，録音×
8. 研修コード 2702

◎**歯科保存学講座**、**附属病院総合診療科** 申込番号：2-3

1. 期 日 令和4年8月28日（日）9時30分～12時30分
2. 開催場所 本会1階・大会議室（千代田区九段北4-1-20-1階 歯科医師会館）
3. 研修テーマ **歯内療法のパラダイムシフト**
4. 研修の特徴 歯内療法は、ニッケルチタン製ロータリー（NiTi）ファイル、マイクロスコープ、歯科用コーンビームCT（CBCT）、すなわち、歯内療法の三種の神器により長足の進歩を遂げた。ここ30年で歯内療法のレボリューションともいべき大きな変化が起きたのは周知の事実である。その変化は新しい器具器材の導入による進化にとどまらず、ここ10年で、歯内療法の考え方自体が大きく様変わりしている。まさに現在、『歯内療法にパラダイムシフトが起こっている』といっても過言ではない。
しかし、ここ2年間は新型コロナウイルスの影響で、デンタルショーや学会の企業展示も中止や延期が相次ぎ、会員の先生方が新しい器具器材を直接みて触れる機会がないのが現状である。そのような世情を鑑み、歯内療法の卒業研修を企画した。
本研修では、歯内療法がどのように変化したか、どのような治療が行われているのかを臨床例を提示しながら、動画を交えて講演で紹介する。
5. 担当者 五十嵐 勝教授（歯科保存学講座）、北村 和夫教授（附属病院総合診療科）
6. 受講定員 60名 7. 記録 撮影×、録画×、録音× 8. 研修コード 2503

◎**歯周病学講座** 申込番号：2-4

1. 期 日 令和4年9月8日（木）9時30分～12時30分
2. 開催場所 本会1階・大会議室（千代田区九段北4-1-20-1階 歯科医師会館）
3. 研修テーマ **歯周組織再生療法を効果的に活用するには？**
4. 研修の特徴 歯周組織再生療法は1980年代に歯周組織再生誘導法（GTR法）が登場し、次にエナメルマトリックスデリバティブ（エムドゲイン®ゲル）を応用した再生治療が実用化され、多くの臨床データが蓄積されてきた。また塩基性線維芽細胞増殖因子（FGF-2）製剤（リグロス®）による再生治療の開発と保険導入も記憶に新しい。このように、各種歯周組織再生療法の登場は従来の歯周治療戦略に大きな変化をもたらすとともに、歯周治療の選択肢が広がってきている。
今回の研修では、明日からの日常臨床で歯周治療の1戦略として歯周組織再生療法を効果的に行うことができるよう、その原理、本邦で使用可能なGTR法、エムドゲイン®、リグロス®を用いた再生療法の特徴と適応症および禁忌症、術式の実際と留意点、さらには臨床成績などを症例提示を交えて解説する。
5. 担当者 沼部 幸博教授
6. 受講定員 60名 7. 記録 撮影×、録画×、録音× 8. 研修コード 2504

3. 日本大学歯学部

◎摂食機能療法学講座 申込番号：3-1

1. 期 日 令和4年6月26日（日）14時00分～17時00分
2. 開催場所 本会1階・大会議室（千代田区九段北4-1-20-1階 歯科医師会館）
3. 研修テーマ **かかりつけ歯科医が実施する診療室を核とした在宅歯科医療**
4. 研修の特徴 超高齢社会となった日本は要介護者も多く、その中には在宅療養となり歯科医院に通院できない高齢者もいます。通院が困難になった高齢者の口腔内の状態はもちろん、口腔・嚥下機能も低下していきます。かかりつけ歯科医として、在宅支援で患者にできること、さらには要介護状態となる前にできる予防の指導があります。
本研修では、在宅診療を行う上で必要となる要介護高齢者や障害の特徴などの基本的な知識や包括的ケアにおける歯科医師の役割と多職種連携についての講義を行います。さらに口腔・嚥下機能の検査や評価方法、機能訓練法などについて動画を用いて説明します。実際の臨床現場と同様の状況を見ることができ、今後の診療に活用できます。
この研修で口腔・嚥下機能に視点を向けることで、明日から機能評価や在宅支援を見据えた診療に生かすことができますので、ぜひご参加ください。
5. 担当者 植田耕一郎教授
6. 受講定員 60名 7. 記録 撮影×、録画×、録音× 8. 研修コード 3405

◎歯科補綴学第I講座 申込番号：3-2

1. 期 日 令和4年8月4日（木）9時30分～12時30分
2. 開催場所 本会1階・大会議室（千代田区九段北4-1-20-1階 歯科医師会館）
3. 研修テーマ **軟質裏装材による下顎高度顎堤吸収症例への対応**
4. 研修の特徴 近年、下顎無歯顎症例では、高度顎堤吸収を呈す患者に遭遇することが多くなってきており、総義歯製作過程の印象採得が困難となる症例も少なくない。このような現状において、総義歯の新製作時や裏装時では、機能圧の付与だけでなく、患者自身が印象採得を行う意味合いを含み、かつ患者の日常的な咀嚼や嚥下をはじめとした機能圧を義歯床粘膜面に再現することが可能である動的印象は効果的な手法である。
本研修では、この機能印象を中心とした義歯製作前の対応を受講し習得する。また、高度顎堤吸収症例は顎堤による義歯の維持力の獲得が困難であり、さらに菲薄した粘膜を呈すことが多い為、患者が義歯装着時の疼痛を訴え易い。よって硬質材料より緩衝作用が高い軟質裏装材の使用は効果的であるため、本講演では動的印象後の義歯から作業用模型を製作した後に、軟質裏装材を使用した間接法による裏装の過程を説明する。
5. 担当者 飯沼 利光教授
6. 受講定員 60名 7. 記録 撮影×、録画×、録音× 8. 研修コード 2607

◎**歯科保存学第Ⅱ講座** 申込番号：3-3

1. 期 日 令和4年8月4日(木) 14時00分～17時00分
2. 開催場所 本会1階・大会議室(千代田区九段北4-1-20-1階 歯科医師会館)
3. 研修テーマ エンドの難治症例に対応するための基本的なアプローチ
4. 研修の特徴 毎日同じように根管治療を行っているのに、治ったり治らなかつたりすることがあります。その原因の多くは複雑な根管形態にあります。石灰化根管においては根管を見つけ出すことすら困難です。また、再根管治療症例では根管内の状態がオリジナルの状態と比較して大きく異なっています。ステップやストリッピングなど根管形態の破壊を生じたり、切削片が根管内に詰まっていたりする症例にも頻繁に遭遇します。
加えて、穿孔(パーフォレーション)や根管内器具破折などの偶発事故を生じていることもあり、抜歯を余儀なくされる症例も少なくありません。そのため、いつまでも治療を繰り返すことにもなりかねず、再根管治療の難易度は増すばかりです。
本研修では、成功に導くために必要な根管治療の基本について学んでいただきます。また、石灰化根管、偶発症や難治症例に対してどのようにアプローチしたら良いか、実際の症例を用いて動画で解説いたします。
5. 担当者 武市 収教授
6. 受講定員 60名 7. 記録 撮影×, 録画×, 録音× 8. 研修コード 2503

◎**口腔外科学第Ⅰ講座** 申込番号：3-4

1. 期 日 令和4年8月18日(木) 9時30分～12時30分
2. 開催場所 本会1階・大会議室(千代田区九段北4-1-20-1階 歯科医師会館)
3. 研修テーマ 抜歯の臨床～トラブル回避のための知っておきたい10のポイント
4. 研修の特徴 本研修では、東京都歯科医師会会員の皆様からご要望のあった、「抜歯の臨床」をテーマに研修していただきます。口腔外科は「抜歯に始まり抜歯に終わる」といわれているほど、抜歯処置は口腔内手術の全てに通じる重要な基本手技です。基本手技は日常の歯科臨床の中の忙しさに追われ、いつの間にか自己流に陥っている可能性があります。
本研修では、局所麻酔・伝達麻酔から切開・剥離・縫合・止血の基本的な手技、抜歯を始めとした口腔外科小手術に関する具体的な術式を丁寧な講義やデモを通して、再確認、習得して頂きます。また、実際の臨床で行っている手術手技のコツや有病者における医学的管理の流れ、専門医に紹介した方が良い症例や対診・照会状の書き方なども含めた注意点を分かりやすく解説します。
開業歯科医の先生方にとって、再確認・トラブル回避・スキルアップの場として明日からの臨床に役立つ機会になると確信しています。
5. 担当者 外木 守雄教授
6. 受講定員 60名 7. 記録 撮影×, 録画×, 録音× 8. 研修コード 2702

4. 東京医科歯科大学歯学部

◎摂食嚥下リハビリテーション学分野 申込番号：4-1

1. 期 日 令和4年7月21日（木）9時30分～12時30分
2. 開催場所 本会1階・大会議室（千代田区九段北4-1-20-1階 歯科医師会館）
3. 研修テーマ これからの摂食嚥下リハビリテーション
4. 研修の特徴 摂食嚥下というと内視鏡検査をして訓練や口腔ケアをすればよいと思われるかもしれませんが、実際には本当にいろいろできることがあります。今回は今まであまり習ってこなかった知識の復習、身体の評価や気を付けるべき薬剤、評価の総まとめと「では、どうみていくか？」まで紹介します。さらに我々が近年開発したトロミ付き炭酸飲料の作り方、口腔機能の評価に利用できる新しい機器、機能的に改良された新たな内視鏡、声を取り戻すための口腔内装置などについて、可能な限りデモを交えてお話しします。
 - （1）摂食嚥下リハに必要な基本的な知識の復習
 - （2）摂食嚥下機能評価の総まとめ（身体の評価や薬も）
 - （3）では、どうみていくか？何を食べさせるか？
 - （4）様々な口腔機能測定器・新たな機器
 - （5）ディスプレイ内視鏡を用いた嚥下内視鏡おそらく他にはあり得ないような充実した内容をご紹介できると思いますので、是非ご参加いただければありがたいです。
5. 担当者 戸原 玄教授
6. 受講定員 60名 7. 記録 撮影○、録画○、録音○ 8. 研修コード 3405

◎生体補綴歯科学分野 申込番号：4-2

1. 期 日 令和4年8月21日（日）14時00分～17時00分
2. 開催場所 本会1階・大会議室（千代田区九段北4-1-20-1階 歯科医師会館）
3. 研修テーマ パーシャルデンチャー設計チャレンジ
4. 研修の特徴 高齢になっても歯を残せる人が増え、85歳以上の超高齢者で46.3%の人がパーシャルデンチャーを装着し、その割合も増加している。このため、重度の歯周炎を併発したり、すれ違い咬合であったり、さまざまな咀嚼習慣や咬合習癖を持つなど、教科書的なパーシャルデンチャーの設計原則だけでは対応が難しい症例が増えている。

本研修では、初めに設計に関するミニレクチャーを行い設計に関する講義を行う。次に、口腔内診査表、口腔内写真、サベイングした模型の写真を用いて症例概要を提示し、治療方針、治療の順序、およびパーシャルデンチャーの設計線の描記を各自で行う。実際の治療経過は、回収した受講者の回答を用いて解説する。症例は異なるタイプの欠損形態を有する2つの症例を用い、治療計画を立案、設計において配慮する点を実症例より学ぶ。
5. 担当者 若林 則幸教授
6. 受講定員 60名 7. 記録 撮影×、録画×、録音× 8. 研修コード 2607

◎**歯髄生物学分野** 申込番号：4-3

1. 期 日 令和4年8月28日(日) 14時00分～17時00分
2. 開催場所 本会1階・大会議室(千代田区九段北4-1-20-1階 歯科医師会館)
3. 研修テーマ **エビデンスに基づくベーシックエンド+α**
4. 研修の特徴 近年、NiTi ローターファイルや mineral trioxide aggregate (MTA) の開発、手術用実体顕微鏡や歯科用 CT の導入など、歯内療法 of 器材・術式は著しく進歩しており、そのグローバルスタンダードが大きく変貌を遂げています。
ところが、これらの真価はエビデンスに基づき確立されたトラディショナルな理念や術式とのコンビネーションにより、はじめて発揮されるともいえます。
そこでこの研修会では最新機材を駆使した臨床を紹介することはもちろんですが、トラディショナルな器材術式にも十分配慮した、教科書プラスアルファの内容ではあるものの、評価がある程度定まった手堅い情報をお伝えしたいと思います。
5. 担当者 興地 隆史教授
6. 受講定員 60名 7. 記録 撮影×, 録画×, 録音× 8. 研修コード 2503

◎**顎顔面外科学分野** 申込番号：4-4

1. 期 日 令和4年9月8日(木) 14時00分～17時00分
2. 開催場所 本会1階・大会議室(千代田区九段北4-1-20-1階 歯科医師会館)
3. 研修テーマ **顎関節症の病態診断と病態別治療法**
4. 研修の特徴 顎関節症の約90%は歯科医院の設備で改善に導くことができます。しかしながら、日本顎関節学会による疾患概念に記載されておりますように、顎関節症は「顎関節や咀嚼筋の疼痛、関節(雑)音、開口障害ないし顎運動異常を主要症候とする障害の包括的診断名」です。そして、その病態には「咀嚼筋痛障害、顎関節痛障害、顎関節円板障害および変形性顎関節症」が含まれています。そのため、治療を成功に導くためには、これらの病態に診断分類した上で、病態別に治療を選択しなければなりません。
2013年に日本顎関節学会から国際基準である DC/TMD : Diagnostic Criteria for Temporomandibular Disorders に準拠した新しい顎関節症の病態分類が発表されました。さらに2019年に具体的な診断基準も示されました。今回は、新しい病態分類と診断基準について解説し、学会ガイドラインに基づいて一般歯科医院で対処可能な病態別治療法についても言及させていただきます。
5. 担当者 依田 哲也教授
6. 受講定員 60名 7. 記録 撮影×, 録画×, 録音× 8. 研修コード 2802

5. 昭和大学歯学部

◎歯科保存学講座歯内治療学部門 申込番号：5-1

1. 期 日 令和4年7月21日（木）14時00分～17時00分
2. 開催場所 本会1階・大会議室（千代田区九段北4-1-20-1階 歯科医師会館）
3. 研修テーマ エンドの基本と難症例対策
4. 研修の特徴 歯内治療の分野は、マイクロスコープやコーンビームCTの導入、NiTiファイルの進歩などによって、近年大きな進化を遂げてきており、歯内治療の専門性は以前よりも高まってきています。一方で、難治症例にお困りの先生方も数多くいらっしゃると思います。最新器材を使用しても、歯内治療の基本はやはり無菌的処置と徹底した根管内の清掃であることに変わりはありません。
本研修会では、なかなか話を聞く機会が少ない歯内治療の基本的な手技や考え方について、現在のスタンダードといえる方法を改めて確認していただいたうえで、大学病院での症例をもとに、マイクロスコープやコーンビームCTを活用した難症例への対応についてもご紹介させていただきたいと思います。
本研修会における講義および豊富な症例供覧は、皆様の明日からのエンド臨床において、必ずお役に立てることと思います。
5. 担当者 鈴木 規元教授
6. 受講定員 60名 7. 記録 撮影×，録画×，録音× 8. 研修コード 2503

◎高齢者歯科学講座 申込番号：5-2

1. 期 日 令和4年7月24日（日）9時30分～12時30分
2. 開催場所 本会1階・大会議室（千代田区九段北4-1-20-1階 歯科医師会館）
3. 研修テーマ 超高齢社会におけるオーラルフレイルの美しい検査と管理
4. 研修の特徴 超高齢社会における我が国において、オーラルフレイルが増えており、その検査・管理の重要性が増してきていますが、日常臨床に十分に取り入れられてはいません（2021.6厚労省調査で約15%の歯科医院が実施）。未実施の理由は、時間がかかる、管理方法がわからないなどです。
そこで、本研修では、口腔機能低下症の7つの検査を効率的に行う方法をビデオを交えて熟知していただき、その管理として、検査結果から算出される口腔機能年齢（お口年齢）を用いた効果的で簡便な指導方法を学んでいただきます。またオーラルフレイル管理の一貫として、歯科訪問診療でも必要となる、食支援や多職種との連携に必要な口腔機能管理の考え方について学びます。さらに、歯科の専門性である実践的な義歯の効率的な調整法を講義します。
以上より、オーラルフレイルの安心・安全・効率的な「美しい検査と管理」を身につけていただき、超高齢社会で生き延びれる歯科医師になっていただきたいと思います。
5. 担当者 佐藤 裕二教授，古屋 純一准教授
6. 受講定員 60名 7. 記録 撮影○，録画×，録音× 8. 研修コード 3406

◎スペシャルニーズ口腔医学講座口腔衛生学部門 **申込番号：5-3**

1. 期 日 令和4年7月24日（日）14時00分～17時00分
2. 開催場所 本会1階・大会議室（千代田区九段北4-1-20-1階 歯科医師会館）
3. 研修テーマ **口腔機能発達不全症の評価と対応**
4. 研修の特徴 小児口腔機能管理加算が新設され4年が経過しましたが、高齢者の口腔機能低下症のように明確な評価基準がない中での口腔機能発達不全症の評価は、非常に分かりにくい部分も多いかと思います。
小児を対象とする発達不全の気づきは早期であればあるほど、その修正は軽微であると考えられることから、次世代を担う子ども達への口腔機能の支援は歯科臨床において今後さらにニーズが高まるものと思われれます。
本研修では、小児の口腔機能発達の過程と不全に関する講義、事例検討を通し、日常臨床の中で小児期の口腔機能管理を実践できる知識の習得を目指します。
5. 担当者 弘中 祥司教授
6. 受講定員 60名 7. 記録 撮影×，録画×，録音× 8. 研修コード 2902

◎歯周病学講座 **申込番号：5-4**

1. 期 日 令和4年8月18日（木）14時00分～17時00分
2. 開催場所 本会1階・大会議室（千代田区九段北4-1-20-1階 歯科医師会館）
3. 研修テーマ **リグロス®を用いた低侵襲な歯周組織再生療法および歯周病新分類について**
4. 研修の特徴 歯周組織再生を促す成長因子の応用として、歯周組織再生剤リグロス®は塩基性線維芽細胞増殖因子（FGF-2）製剤であり、歯根膜や歯槽骨を構成する細胞の増殖を高めて、歯周組織の再生を促します。しかし、歯周組織再生を確実に成功に導くためには、本製剤のメカニズムを理解した上で適切な症例を選択することが欠かせません。
そこで本研修では、リグロス®を用いた歯周組織再生について、作用機序から適応症選択までを概説し、また予知性を考慮した低侵襲でより効果的なフラップデザインをあわせてお話しいたします。また、2018年にアメリカ歯周病学会・ヨーロッパ歯周病連盟より歯周病分類を新体系が公表されました。
「慢性歯周炎」、「侵襲性歯周炎」と認知されていた疾患形態が「歯周炎」と統合され、さらに、ステージング（歯周炎の重症度など）とグレーディング（歯周炎の進行リスクなど）に分けられました。そこで後半では、歯周病の新分類についてお話しいたします。
5. 担当者 山本 松男教授
6. 受講定員 60名 7. 記録 撮影×，録画×，録音× 8. 研修コード 2504

卒後研修への申込方法

【WEBからお申し込みの場合】

本会ホームページ（ ）の「イベント・講習会等情報」をクリックして「参加申し込みフォーム」よりお申し込みください。



こちらからも
研修会のお申
込みができます

【FAXでのお申し込みの場合】

本冊子 p. 1，もしくは本会雑誌3月号・4月号の申込書へ必要事項をご記入の上，
FAX（03-3262-4199）でお申し込みください。